

第 5 章

保健予防業務関係

第5章 保健予防業務関係

1 感染症予防対策

感染症の届出等や施設等における集団発生時には、積極的疫学調査、保健指導等を実施し、感染症のまん延防止に努めた。定点医療機関からの報告により感染症の発生状況を収集し、管内市町医療機関等に情報を還元している。また、関係機関と感染症情報を共有し蔓延防止とスムーズな対応に向けて地域全体の感染症対策を推進する体制を整備するため、感染症対策会議を開催した。

(1) 感染症対策会議

開催日	内容	参加団体
平成 29 年 6 月 20 日	1 最近の感染症発生の動向について 2 結核について～その特徴と発生後の対応手順～ 3 蚊媒介感染症の対応 ～行政の蚊媒介感染症対策について～ 4 その他 (1)平成28年度新型インフルエンザ等対策訓練等の報告 (2)エボラ出血熱の発生時について	11
平成 29 年 11 月 28 日	1 平成 29 年に注目された感染症について 2 腸管出血性大腸菌感染症について 3 新型インフルエンザについて	11

(2) 感染症の届出状況と積極的疫学調査

(平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日,単位:件)

病名	届出件数	疾患名	疫学調査数	検査依頼数
一類感染症				
二類感染症	20	結核 12・潜在性結核感染症 8	20	
三類感染症	7	腸管性出血性大腸菌 7	6	23
四類感染症	8	つつが虫病 8		
五類感染症	16	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 10 梅毒 4 侵襲性肺炎球菌感染症 1 クロイツフェルト・ヤコブ病 1		10
総数	51		26	33

(3) 感染症の集団発生の疫学調査・指導等

(単位:件)

施設種別	件数	疾患名	患者数
老人保健施設	1	インフルエンザ	15
老人福祉施設	2	インフルエンザ	41
老人福祉施設	1	ノロウイルス	26

(4) 集団かぜ・インフルエンザによる学級閉鎖等状況

施設	2016(平成28)年度					2017(平成29)年度				
	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	欠席者数	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	欠席者数
幼稚園	1			2	16	1			1	9
小学校	12		2	26	253	11		2	39	375
中学校	1		1		18	3		3		61
高等学校	1			1	37					
計	15		3	29	324	15		5	40	445

2 結核予防対策

結核患者が適切に治療を継続できるように、訪問等で療養生活の支援を行うとともに積極的疫学調査や接触者健診を行い、感染拡大防止、接触者の不安の解消に努めた。また、医療機関と連携し、結核患者を早期発見し、治療中断者をなくすため結核医療従事者研修を開催した。

(1) 結核患者の状況

ア 結核登録患者数

(ア) 登録患者数年次推移 (各年12月31日現在, 単位:人)

区 分	昭和 58 年	平成 5 年	平成 15 年	平成 25 年	平成 29 年
結核登録患者数	176	129	51	2	31
活動性結核患者数	91	44	23	19	9

(イ) 性、年齢階級、受療状況、市町別登録患者数及び有病率

(平成 29 年 12 月 31 日現在, 単位:人)

区 分	総計	活動性結核										(別掲)		有病率 (人口 10 万対)	
		合計	活動性肺結核						肺外結核	活動性不明	不活動性結核	潜在性結核			
			計	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他				治療中	経過観察中	結核	活動性陽性
				小計	初回治療	再治療									
平成 27 年	31	12	11	7	7		3	1	1	18	1	4	9	11.0	6.4
平成 28 年	31	4	4	2	2		1	1		26	1	3	14	3.6	1.8
平成 29 年	31	9	6	4	4		2		3	22		2	16	8.2	3.6
男	22	8	5	4	4		1		3	14			5		
女	9	1	1				1			8		2	11		
0~4 歳	1	1							1				3		
5~9 歳													1		
10~14 歳															
15~19 歳	1									1					
20~29 歳	3	1	1				1			2			2		
30~39 歳	3									3		1	1		
40~49 歳	2									2			2		
50~59 歳	2	1							1	1			3		
60~69 歳	6	3	2	1	1		1		1	3			2		
70 歳以上	13	3	3	3	3					10		1	2		
受療別	入院	3	3	2	2		1								
	在宅医療	6	6	3	2		1		3			2			
	経過観察	22								22			16		
	不明														

市町別	南足柄市	12	3	3	2	2		1			9			9
	中井町	6	3	2	1	1		1		1	3		1	3
	大井町	2									2			
	松田町												1	1
	山北町	3	1							1	2			1
	開成町	8	2	1	1	1				1	6			2
	小田原市													

イ 結核新登録患者数

(ア) 新登録患者数年次推移

(平成29年1月1日～12月31日, 単位:人)

区 分	昭和 58 年	平成 5 年	平成 15 年	平成 25 年	平成 29 年
新登録結核患者数(人)	23	29	19	9	11
足柄上センター管内罹患率 (人口 10 万対)	22.5	26.6	17.9	8.18	10.17

(イ) 性、年齢階級、発見方法、市町別新登録患者数及び罹患率(平成28年1月1日～12月31日, 単位:人)

区 分	活 動 性 結 核								(別掲)	罹 患 率 (人口 10 万対)	
	総計	活 動 性 肺 結 核					肺 外 結 核 活 動 性	結 核 潜 在 性		結 核 活 動 性	陽 性 喀 痰 塗 抹
		合計	計	初回治療	再治療	その他の 結核菌 陽性					
平成 27 年	14	13	7	7		5	1	1	8	12.8	6.4
平成 28 年	7	7	3	3		3	1		5	6.4	2.7
平成 29 年	11	8	6	6		2		3	7	10.0	5.5
男	10	7	6	6		1		3	2		
女	1	1				1			5		
0～4 歳	1							1			
5～9 歳									1		
10～14 歳											
15～19 歳											
20～29 歳	1	1				1			2		
30～39 歳											
40～49 歳											
50～59 歳	1							1	1		
60～69 歳	4	3	2	2		1		1	1		
70 歳以上	4	4	4	4					1		
発 見 方 法 別	個別健康診断	1	1			1					
	定期健診										
	接触者健診								6		
	医療機関受診	9	6	6	6			3	1		
	その他	1	1				1				

市町別	南足柄市	5	5	4	4		1		2	
	中井町	3	2	1	1		1	1	1	
	大井町									
	松田町								2	
	山北町	1						1		
	開成町	2	1	1	1			1	2	
	小田原市									

ウ 結核登録削除患者

(平成29年1月1日～12月31日, 単位:人)

計	死 亡		観察不要	転出
	結 核	結 核 外		
4	1		3	0

(2) 管理検診

結核患者の適正管理のために、管理検診を実施した。(平成29年4月1日～平成30年3月31日, 単位:人)

実施機関	受診数	受診結果	
		著変なし	変化あり
委託医療機関	1	1	

(3) 接触者健診

結核患者家族・接触者に対し、接触者健診を実施した。(平成29年4月1日～平成30年3月31日, 単位:人)

計	委託医療機関	足柄上センター
		QFT 検査
26	2	24

(4) 感染症診査協議会 結核部会

結核患者の医療が適正か否かを協議するために、感染症診査協議会結核部会を小田原保健福祉事務所にて隔週で開催された。就業制限(18条)、入院勧告(20条)、公費負担(37条及び37条の2)について諮問した。

ア 諮問件数

(平成29年4月1日～平成30年3月31日, 単位:人)

	18条勧告 (就業制限)	20条勧告(入院)		37条 (延べ)	37条の2(一般医療)			
		新規	延長		合計	新規	継続	退院後の継続
諮問件数		5	11	16	26	11	8	3
医療内容合格		5	11	16	26	11	8	3
医療内容不合格								

イ 医療費公費負担診査件数

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日, 単位:人)

区 分	計	37条 入院 医療	37条の2申請者の保険内訳						
			小 計	被用者保険		国民保険		後期 高齢	生活 保護
				本人	家族	一般	退本		
公費負担承認	28	4	20	2	1	8	0	7	1

※37条の2申請者の保険内訳として「その他」1件あり(公務災害関係)

(5) 結核患者家庭訪問、相談状況

主として新登録患者や活動性結核で治療放置の者、感染性で在宅療養中の者、療養上問題のある者等に対し、医師、保健師等による家庭訪問指導を実施した。

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日, 単位:人)

	家 庭 訪 問		相 談	
	実 人 数	延 人 数	電 話	来 所
平成 27 年度	26	116	344	62
平成 28 年度	33	228	351	103
平成 29 年度	23	114	206	15

(6) 結核定期病状調査事業

病状の把握ができない結核登録者はいなかった。

(7) 服薬支援事業

県内の結核病床のある病院と保健福祉事務所の連携のもとで、治療中断者を早期に発見するとともに、治療継続困難者に対し適切な保健指導による服薬管理の徹底、多剤耐性結核発生予防や蔓延防止を図った結果、治療中断者はいなかった。

3 エイズ・性感染症予防対策

エイズ相談を実施し、感染の予防に努めた。管内の中・高校生を対象に正しい知識の普及啓発を図るため青少年エイズ・性感染症予防講演会を開催した。(検査は平成 25 年度で終了)

(1) エイズ相談・検査

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相 談	13	13	18	12	3	0	0	10
検 査	2	2	1	4	—	—	—	—

(2) エイズ・性感染症予防対策事業

ア 青少年エイズ・性感染症予防講演会

(単位:人)

開 催 日	学 校 名	講 師	参加者数
計	5校		786
平成 29 年 6 月 15 日	県立山北高等学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 保健師	198
平成 30 年 2 月 20 日	南足柄市立南足柄中学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 医師 保健師	138
2 月 22 日	南足柄市立足柄台中学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 保健師	142
2 月 23 日	開成町立文明中学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 保健師	185
3 月 20 日	県立吉田島総合高等学校	小田原保健福祉事務所足柄上センター 医師	128

イ エイズキャンペーン事業

(単位:枚)

開 催 日	会 場	配布数
平成 29 年 4 月 21 日	小田原保健福祉事務所足柄上センター 学生オリエンテーション	32
6 月 8 日	がん検診普及啓発キャンペーン参加者にエイズ・性感染症予防啓発グッズを配布	100
9 月 1 日	小田原保健福祉事務所足柄上センター 学生オリエンテーション	29

4 難病対策

医師団体の研修等及び指定難病患者とその家族を対象に、医療講演会や相談会、患者・家族のつどいを開催した。また、サービス提供者を対象に従事者研修を開催した。

(1) 指定難病医療連携
管内指定難病医療受給者

疾患分類	No.	疾患名	総数		南足柄市		中井町		大井町		松田町		山北町		開成町							
			総数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女					
		総計	630	277	353	254	111	145	52	28	26	107	46	61	89	32	40	81	32	40		
神経系	2	筋萎縮性側索硬化症	5	3	2	1	1	1	1	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0		
	3	脊髄性筋萎縮症	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	5	進行性核上性麻痺	9	5	3	2	1	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3	1	2	
	6	パーキンソン病	108	45	63	50	18	32	9	4	5	12	7	5	11	4	7	12	4	8	14	8
	7	大脳皮質基底核変性症	5	3	2	2	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	8	ハンチントン病	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11	重症筋無力症	15	5	10	5	2	3	0	0	1	1	3	1	2	4	2	2	2	2	2	
	13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	19	4	15	7	8	0	0	5	1	4	2	2	3	2	1	2	2	1	2	
	14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5	4	1	2	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	
	17	多系統萎縮症	8	5	3	5	4	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	1	
	18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症除く)	10	10	0	2	1	1	2	1	1	4	3	1	2	2	3	2	1	3	1	2
	19	ライソゾーム病	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	神経系	22	もやもや病	7	1	6	2	1	1	0	0	2	2	2	0	1	1	1	1	1	1	
		34	神経線維腫症	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		35	天疱瘡	5	1	4	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		40	高安動脈縁(大動脈炎症候群)	2	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		41	巨細胞性動脈炎	4	2	2	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	1	0	0	0	0	
	免疫系	42	結節性多発動脈炎	4	0	4	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
43		顕微鏡的多発血管炎	6	2	4	4	1	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0			
44		多発血管性肉芽腫症	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
45		好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	2	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0		
46		悪性関節リウマチ	4	2	2	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0		
47		パージャール病(ビュルガー病)	6	1	5	0	0	0	0	0	0	1	1	5	5	0	0	0	0	0		
49		全身性エリテマトーデス	52	4	48	26	2	24	3	13	1	12	2	2	0	0	0	0	8	1	7	
50		皮膚筋炎/多発性筋炎	19	5	14	9	3	6	1	1	4	1	3	2	2	1	1	2	1	2	1	
皮膚系		51	全身性強皮症	15	2	13	4	4	3	3	2	2	1	1	2	1	1	3	1	3	1	2
		52	混合性結合組織病	15	2	13	5	1	4	0	0	6	1	5	3	3	0	0	0	1	1	
	53	シェーグレン症候群	5	1	4	3	3	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0		
	54	成人スチル病	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
循環器系	56	パーチェット病	8	5	3	4	2	2	1	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0		
	57	特発性拡張型心筋症	16	13	3	9	8	1	0	1	1	4	3	1	2	1	1	0	0	0		
	58	肥大型心筋症	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
血液系	60	再生不良性貧血	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
	63	特発性血小板減少性紫斑病	8	2	6	2	2	0	1	1	3	3	0	0	0	0	2	2	2	2		
腎臓系	66	IgA腎症	10	7	3	4	3	1	0	1	1	1	1	3	1	2	1	1	1	1		
	67	多発性囊胞腎	7	4	3	5	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
骨・関節系	68	黄色靭帯骨化症	2	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
	69	後縦靭帯骨化症	29	22	7	9	8	1	5	3	2	6	5	1	2	2	1	1	5	3	2	
内分泌系	71	特発性大脳骨頭壊死症	12	8	4	5	4	1	0	0	4	4	0	0	1	1	2	1	2	1	2	
	72	下垂体性ADH分泌異常症	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	74	下垂体性PRL分泌亢進症	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	73	クッシング病	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	77	下垂体成長ホルモン分泌亢進症	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
	78	下垂体前葉機能低下症	11	7	4	4	4	0	0	0	1	1	1	3	1	2	2	2	2	2		
	80	甲状腺不応症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	呼吸器系	84	サルコイドシス	4	2	2	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
		85	特発性間質性肺炎	4	3	1	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		86	肺動脈性肺高血圧症	5	1	4	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
88		慢性血栓塞栓性肺高血圧症	8	2	6	3	3	1	1	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0		
視	89	リンパ管筋腫症	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2		
	90	網膜色素変性症	14	6	8	5	1	4	3	1	2	1	1	0	3	2	1	2	1	1		
	93	原発性胆汁性胆管炎	5	3	2	1	1	1	1	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
	95	自己免疫性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	96	クローン病	25	16	9	10	6	4	1	1	6	4	2	5	4	1	0	0	3	2	1	
	97	潰瘍性大腸炎	98	53	45	38	21	17	12	8	4	16	5	11	6	3	3	13	8	5	13	8
	98	好酸球性消化管疾患	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1		
	113	防ジストロフィー	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0		
	117	腎臓空洞症	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	167	マルファン症候群	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
171	ウィルソン病	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
210	単心室症	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0			
220	急速進行性糸球体腎炎	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0			
腎臓系	222	一次性ネフローゼ症候群	3	1	2	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0		
	224	紫斑病性腎炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	228	間質性膀胱炎	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
229	肺胞蛋白症(自己免疫又は先天性)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0			
代謝系	257	肝型糖尿病	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	271	強直性脊椎炎	2	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		

受給者疾患別内訳 (血)血液系20人 (免)免疫系149人 (内)内分泌系18人 (代)代謝系3人 (神)神経・筋193人 (視)視覚系17人 (循)循環器系23人 (呼)呼吸器系27人 (消)消化器系200人 (皮)皮膚・結合組織25人 (骨)骨・関節系63人 (腎)腎・泌尿器系13人

(2) 難病講演会

(単位:人)

開催日	対象疾患	テーマ	講師	参加者数
平成 29 年 9 月 9 日	パーキンソン病	「パーキンソン病の最新治療 と日常生活のすごし方について」 「日常生活でできるリハビリ」 「支える家族へのメッセージ」	国立病院機構箱根病院 副院長 荻野裕	44 人

(3) 難病相談会

開催日	内容	講師	回数
H29 年 7 月 3 日 ～ 7 月 14 日	指定難病集中更新時における随時相談	保健予防課 保健師	10 回

(4) 難病患者と家族のつどい

(単位:人)

開催日	場所	対象疾患	内容	講師	参加者数
平成 29 年 5 月 30 日	足柄上合同庁 舎2階研修室	神経難病 患者	交流会、情報提供	保健予防課 保健師	12 人
平成 29 年 11 月 1 日	足柄上合同庁 舎2階研修室	パーキン ソン病	・DVD「笑顔のパーキンソン 病ラジオ体操」の視聴と実技 ・交流会、情報提供	保健予防課 保健師	14 人
平成 29 年 12 月 13 日	足柄上合同庁 舎2階研修室	全疾患	・ハーモニカコンサート ・交流会、情報提供	中井フレンズ・ナウ	17 人

(5) 難病リハビリ教室

開催日	内容	講師	参加者数
平成 30 年 1 月 23 日	講演会 「嚥下機能を高めるために」	足柄歯科衛生士会 前会長 加藤 明美氏	悪天候の ため中止

(6) 訪問相談事業

在宅の神経難病患者・家族に対して、訪問相談員を派遣し、家庭訪問等により療養上の支援を行った。

職種	訪問実人数	訪問回数	対象者と相談内容
歯科衛生士 2 名	2	3	対象者:パーキンソン病と慢性脱髄性多発性神経炎の合併 2 名、 筋萎縮性側索硬化症 1 名 内 容:歯科相談、保健指導等(歯科保健、摂食嚥下指導他)

(7) 難病特別対策推進事業

在宅難病患者の療養を支援するサービス提供者のスキルアップを図るため、サービス提供者(保健師、訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパー、歯科衛生士等)に対し、在宅難病患者保健福祉従事者研修を行った。(単位:人)

開催日	場所	テーマ	講師	参加者数
平成 29 年 11 月 15 日	足柄上合同 庁舎 2階研修室	講演 「プロに学ぶ腰痛を防ぐ介助法～ 神経難病患者の介助のコツ～」	神奈川県総合リハビリ テーションセンター 地域リハビリテーション 支援センター 理学療法士 平田 学 氏 作業療法士 一木 愛子氏	16 人

(8) 神経難病患者等緊急一時入院

医療依存度が高く、介護保険等での短期入所等のサービス利用が困難な在宅神経難病患者等を対象に、介護者の休養や介護困難時に対応するため、対象者からの利用申請の受付、申請者の状況調査等を行った。

(単位:人)

利用医療機関	申請件数	利用回数 (延数)	利用者数 (実数)
県立足柄上病院	8	8	6
箱根病院	4	4	2
鶴巻温泉病院	2	2	1
神奈川リハビリテーション病院	1	1	1

(9) 家庭訪問・相談

家庭訪問

(単位:人)

	神経系	膠原病	消化器系	循環器系	その他	計
実人数	17	1				18
延人数	29	4				33

相談

(単位:人)

面接	電話	その他	計
284	273	71	628

5 肝臓疾患対策

(1) B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス検査

年代	計	10～19歳	20～29歳	30～39歳	60歳以上
B型	2		2		
C型	2		2		

(2) 肝炎治療医療費助成制度

(単位:人)

区分	申請者数
核酸アナログ治療(新規)	7
核酸アナログ治療(更新)	31
インターフェロンフリー治療	31
合計	69

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、定期健康診断を実施した。また、医療援護の申請事務を行った。

(1) 被爆者健康手帳等所持状況

(平成 30 年 3 月末現在,単位:人)

区 分	計	被爆者健康手帳	健康診断受診者証	被爆者のこども受診者証
計	67	24	3	40
南足柄市	31	14	1	16
中井町	10	3		7
大井町	11	1	2	8
松田町	3	2		1
山北町	8	2		6
開成町	4	2		2

(2) 被爆者健康診断受診状況

(単位:人)

区 分	計	被爆者	被爆者のこども	要精検者	要治療者
平成 28 年度	2		2		
平成 29 年度	2		2		

7 認知症疾患対策

認知症疾患に関する正しい知識の普及を図るとともに、認知症高齢者の方を介護する家族等を支援するため、患者・家族等に対し相談・訪問指導を行った。

(1) 認知症疾患相談事業

ア 相談事業

(単位:件)

区分	開催回数	相談延件数	性 別				年 齢(実数)					相 談 内 容						再掲 高齢者虐待等	
			実 数		延 数		50 歳代 以下	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代 以上	疾患一般	問題行動	治療	看護介護	入院入所	福祉サービス		その他
			男性	女性	男性	女性													
随時		25	5	8	6	19	0	3	0	5	5	7	13	11	0	7	1	11	0
定例	12	27	15	8	15	12	1	2	11	13	0	15	4	14	0	3	3	3	0

イ 訪問指導事業(定例相談訪問分を除く)

(単位:件)

区分	男		女		計		年 齢 (実数)					
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	
件数	1	1			1	1	1					

(2) 処遇困難事例(高齢者虐待等)検討事業

ア 認知症講演会

(単位:人)

実施日	内 容	講 師	対 象 者	参加者数
平成 29 年 12 月 8 日	テーマ1 認知症の理解と対応について テーマ2 支援者に助けてもらったこと	小田原市立病院 看護師 浅川 健恵氏 認知症の人と家族の会 会員 高橋 道男氏	管内介護保険事業者 職員等	33 人

イ 認知症サポーター養成講座

(単位:人)

実施日	講 師	対 象 者	参加者数
平成 30 年 2 月 9 日	足柄上センター 保健師	足柄上地区老人クラブ	65 人

(3) 徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業

認知症が原因で徘徊する高齢者を早期に発見、保護するため、徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業及び運営委員会を実施した。

ア 市町別徘徊高齢者事前登録状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在,単位:人)

計	南足柄市	中 井 町	大 井 町	松 田 町	山 北 町	開 成 町
58	26	2	6	5	1	18

イ ネットワーク実施状況

(単位:件)

	件 数	発見・身元判明の有無
当所への県高齢福祉課からの広域搜索協力依頼	63 件	50 件発見

ウ 徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業運営委員会

開催日	内 容	参加団体
平成 30 年 3 月 1 日	1 足柄上地区の高齢者等の保護・所在不明・行方不明の現状について 2 足柄上地区徘徊高齢者SOSネットワークの要領改正について (1) 搜索事例発生時の対応について (2) 保護事例発生時の対応について 3 足柄上地区徘徊高齢者SOSネットワークの今後のあり方について	7

(4) 足柄上地区認知症担当者及びSOSネットワーク担当者連絡会

開催日	内 容	参加団体
平成 30 年 3 月 1 日	1 認知症初期集中支援事業等の取組状況について 認知症初期集中支援事業の取組状況及び認知症地域支援推進員活動状況 2 足柄上地区徘徊高齢者SOSネットワークの再構築について 足柄上地区における徘徊高齢者の現状と課題について 足柄上地区徘徊高齢者SOSネットワークの要領改正について	7

8 精神保健福祉

住民の精神保健に関する相談に応じ、また精神障害者とその家族等への医療、保健、福祉に関する支援を行うため、医師、福祉職、保健師による相談及び訪問指導を行うとともに、各種事業により地域における精神保健福祉対策の推進を図った。また、自殺予防対策の取り組みとして、市町と連携強化を図りながら、連絡会議や研修等により体制整備を推進した。

(1) 保健福祉事務所等精神保健福祉業務統計

ア 相談・訪問指導

精神的な不調による精神科医療機関への受診や、精神障害を抱えながらの地域生活や社会復帰等について、医師、福祉職、保健師が相談及び訪問指導を行った。

(ア) 把握区分 (単位:人)

区 分	実人員	うち新規	延人員
相 談	160	11	845
訪 問 指 導	33		60

(イ) 相談性別・年齢 (単位:人)

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	不明
実人員	86	68	6		5	15	27	36	23	9	7	6	32
延人員	466	373	6		8	36	244	226	245	25	14	12	35

(ウ) 訪問性別・年齢 (単位:人)

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	不明
実人員	20	13				4	7	6	8	4	3	1	
延人員	44	16				7	15	15	12	4	6	1	

(エ) 相談・訪問契機 (単位:人)

区 分	実人員	市 町 村	医療機関	家 族	本 人	そ の 他
相 談	160	25	12	51	32	40
訪 問	33	4	11	4	2	12

(オ) 相談種別 (単位:人)

区 分	延人員	治療の問題	生活の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相 談	845	342	325	14	95	69
訪 問	60	43	12	1	1	3

(カ) 診断名(実人員)

(単位:人)

区分	計	器質性精神障害	アルコール使用による精神・行動の障害	アルコール以外の物質使用による障害	統合失調症・妄想性障害	気分(感情)障害	神経症性・ストレス関連障害	生理的障害等	成人のパーソナリティ及び行動障害	精神遅滞(知的障害)	心理的発達の障害	小児期・青年期の行動及び情緒の障害	てんかん	診断保留・特定不能	精神障害と認めず	未受診	不明
相談	160	3	9	2	34	23	12		4	1	4		2			18	48
訪問	33	1		2	14	3	1		2		2		1		1	2	4

(キ) 特定の問題群(複数回答)

(単位:人)

区分	計	性格上の問題	児童虐待	家庭内暴力	D V	高齢者虐待	食生活上の問題	アデクション	障害者虐待	近隣苦情	該当なし
相談	891	40	5	35	2	15	1	114		24	655
訪問	63	4	1	6				10			42

(ク) 相談者(複数回答)

(単位:人)

区分	計	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	943	329	247	111	107	149
訪問	136	35	32	24	20	25

(ケ) 担当者(複数回答)

(単位:人)

区分	計	医師	福祉職	保健師	事務職	その他職員
相談	871	22	822	22	1	4
訪問	72	9	58	2		3

(2) 教育広報活動

ア 精神保健福祉知識の普及啓発

(ア) 精神保健福祉普及講演会

地域住民や支援者が精神疾患に対する理解を深め、精神障害者の地域生活を支援することができるよう、講演会を開催した。

(単位:人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
平成29年10月11日	一般住民、精神障害当事者、家族、関係機関職員	統合失調症とはどんな病気か	北小田原病院 医師 中谷 隆三	31

(イ) 普及啓発週間等における普及啓発活動

啓発週間名	期 間	内 容
自殺予防週間	平成 29 年 9 月 10 日～9 月 16 日	・足柄上合同庁舎ロビーでの集中掲示・展示 ・ホームページに関連記事を掲載
精神保健福祉普及運動	平成 29 年 10 月 16 日～10 月 22 日	
アルコール関連問題啓発週間	平成 29 年 11 月 10 日～11 月 16 日	

(ウ) 普及啓発刊行物の発行

刊行物	発行時期	内 容	規格・発行部数
「あなたの退院をお手伝いします～地域移行支援のご案内～」	平成 30 年 3 月	入院患者への地域移行支援の制度の周知	チラシ A4判 色刷り 1,000 部 ポスター A3判 色刷り 100 部

イ 自殺予防対策

自殺予防に資する専門的人材を育成する研修会を開催するとともに、こころの不調に気づき適切に対処するゲートキーパーを様々な層を対象に養成する研修会を開催した。

(ア) 精神保健福祉担当者研修会

(単位:人)

開催日	対 象	内 容	講 師	参加者数
平成 29 年 8 月 23 日	市町、病院、事業所等の関係機関	「相談業務に携わる支援者のメンタルヘルス」 ※精神保健福祉担当者会議を ねて開催	アスク・ヒューマン・ケア 研修相談センター 所長 水澤 都加佐	30

(イ) ゲートキーパー研修会

(単位:人)

開催日	対 象	内 容	講 師	参加者数
平成 29 年 9 月 21 日	企業、行政機関、医療機関、介護保険事業所等	働く人を見守るゲートキーパー研修会 「働く人のこころを職場と地域で見守るために」	アスク・ヒューマン・ケア 研修相談センター 所長 水澤 都加佐	13
平成 29 年 11 月 22 日	小田原保健福祉事務所足柄上センター職員	職員のためのゲートキーパー研修会	小田原保健福祉事務所足柄上センター保健予防課 福祉職	7
平成 30 年 3 月 13 日	大井町民生・児童委員、大井町職員	大井町ゲートキーパー養成講座 (講師派遣協力)		33

(3) 団体等支援

断酒会等の活動に対して支援を行った。

区 分	支援回数	支 援 内 容
断酒会	2	神奈川県酒害相談員研修会への助言者派遣 足柄上地区一般酒害相談研修会の開催支援

(4) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察(法第27条)

精神保健福祉法に基づく警察官通報(法第23条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として平日における調査等を行った。(休日・夜間の調査等は精神保健福祉センターが行った。)

(単位:件)

区 分	通 報	調 査	指 定 医 診 察 結 果				診察不実施 (受療指導 等)
			要 措 置	不 要 措 置			
				入 院	入院外診 療	医療不要	
計	19	19	11	2	1		5
平日	8	8	4	2	1		1
休日・夜間	11	11	7				4

イ 精神科病院実地指導・実地審査(法第38条の6)

(ア)精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

(単位:ヶ所)

所在地市町村	南足柄市
施設数	1

(イ)精神保健福祉法に基づく実地審査(入院患者の精神保健指定医による診察)

(単位:件)

施設数	審査件 数	審 査 結 果								
		措置入院			医療保護入院			任意入院		
		継続	移行	入院不 要	継続	移行	入院不 要	継続	移行	入院不 要
1	6				3	1		1		1

ウ その他医療保護事務(管内病院からの届・報告の進達事務)

(単位:件)

区 分	管内の患者	管外の患者
計	186	222
医療保護入院者の入院届(法第 33 条第7項)	54	51
医療保護入院者の退院届(法第 33 条の2)	56	60
医療保護入院者の定期病状報告(法第 38 条の2第2項)	76	111
措置入院者の定期病状報告(法第 38 条の2)		

(5) 会議

精神保健福祉事業の円滑な推進を図るため、各種会議を開催した。

(単位:人)

会 議 名	開催日	内 容	出席者数
精神保健福祉企画 連絡会議	平成 30 年 3月 15 日	・平成 29 年度精神保健福祉業務の実施について ・平成 30 年度精神保健福祉業務の計画について	6
地域精神保健福祉 連絡協議会	平成 29 年 12月 22 日	・足柄上地区の地域精神保健福祉の概況について ・自殺対策について ・長期入院精神障害者の地域移行支援対策について	23
精神保健福祉担当 者会議	平成 29 年 5月 26 日	・各機関の平成 28 年度の取組みと平成 29 年度の予定につ いて ・平成 29 年度精神保健福祉普及講演会について ・地域自殺対策について ・長期入院者の地域移行支援について	17
	平成 29 年 8月 23 日	・相談業務に携わる支援者のメンタルヘルスについて ※精神保健福祉担当者研修会を兼ねて開催	30
	平成 29 年 10月 26 日	・自殺対策の取組みについて ・長期入院者地域移行について ・次年度の精神保健福祉に関する会議について	18
長期入院精神障害 者地域移行戦略会 議	平成 29 年 6月 14 日 7月 31 日 9月 20 日 10月 19 日 11月 27 日 12月 27 日 平成 30 年 2月 7 日 (計7回)	・長期入院者の地域移行について (個別事例の支援の方向性等)	36